

・FRBの政策スタンスに変化

FRBの利上げ幅に修正の動き



(利上げペースを見直す時期が)
到来しつつある。早ければ次回
(12月)、もしくは、その次の会合かもし
れない (パウエルFRB議長 11/2)

利上げペース減速は早ければ12月の可能性
(FRB議長 11/30)



パウエルFRB議長

ドル主導のドル高は終焉か

1ドル=150円を大幅に超える急激な円安(ドル高)の見方は後退

●FX投資家のドル買い円売り建玉は調整へ



東京金融取引所が運営するFX（外国為替証拠金取引）では、11月24日時点のドル買い円売りの建玉残高が2021年9月下旬以来の高水準を維持する一方、足元では頭打ちの調整感も。11月10日以降のドル安円高局面ではドル買い円売りの建玉を整理する動きに⇒逆張り（ドル買い円売り）、強まらず

ドル主導のドル高は終焉か

米雇用統計12月2日金曜日22:30発表

10月失業率予想:3.7%

10月非農業部門雇用者数予想 : +20.2万人

10月平均時給 (前月比) 予想 : 0.3%



ポイント

- ① 平均時給など賃金の伸びが落ち着きを示すかに注目
- ② 失業率の上昇などが確認されれば、12月13-14日のFOMCでは利上げ幅縮小の見方が優勢に
- ③ 逆に米労働市場の強さが示されれば、労働需給の逼迫がインフレ圧力につながる、との見方に

ドル主導のドル高は終焉か

今夜の米雇用統計にFOMC(ドル)は揺さぶられる

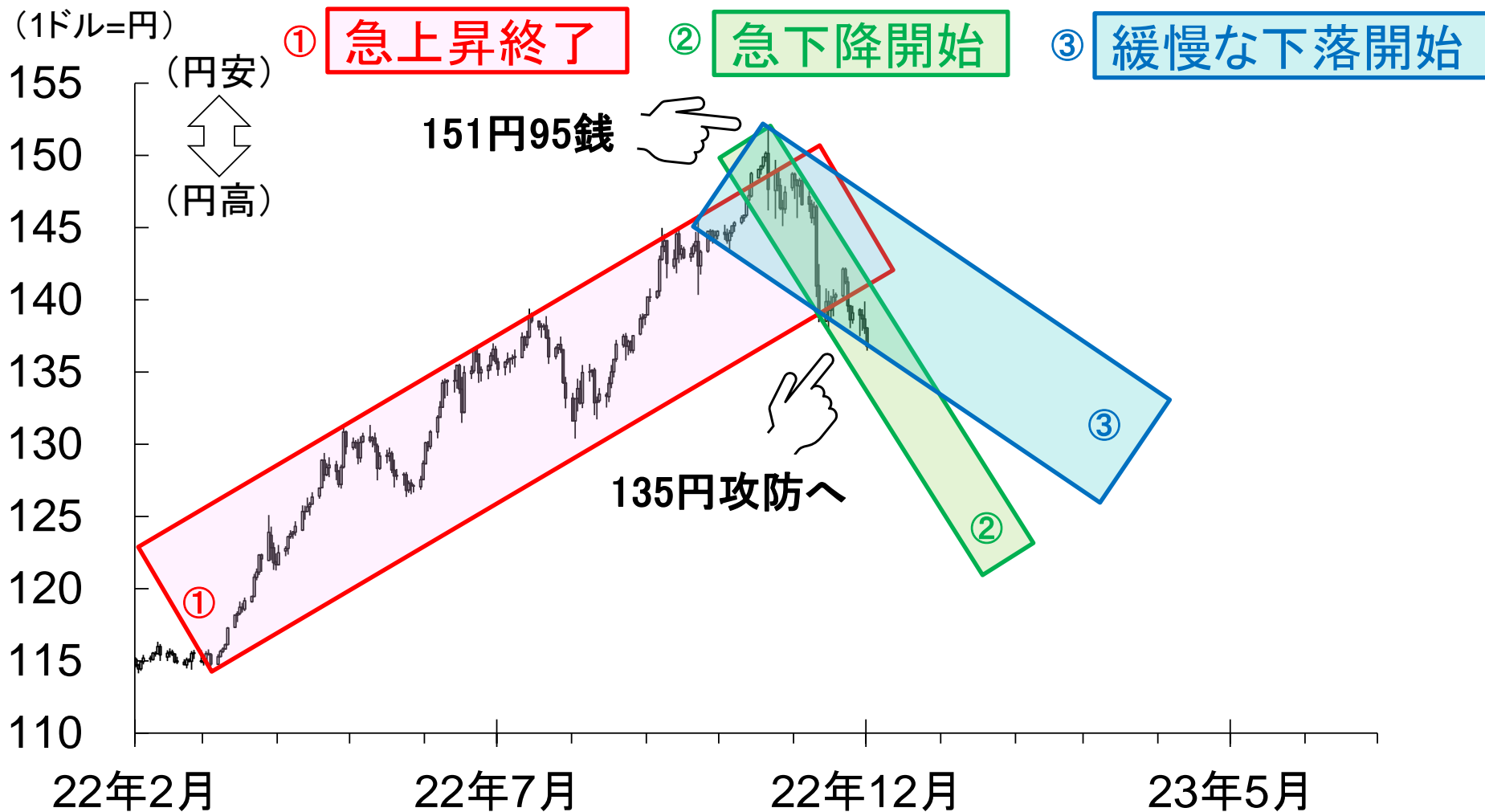
ドル円相場と米10年国債利回り (時間足チャート)

(1ドル=円)



ドル主導のドル高は終焉か

1ドル=150円を大幅に超える急激な円安(ドル高)の見方は後退



ドル主導のドル高は終焉か

2022年末から2023年前半の政治経済日程

2022年12月

2023年1月

2月

3月

第210回(臨時国会)
会期末12月10日

2013年1月
「政府・日本銀行の共同声明」
から11年目に突入

若田部・雨宮副総裁
任期末 3月19日
(黒田総裁 4月8日)

日銀短観12月14日

統一地方選挙
告示



岸田文雄



黒田 東彦

日銀金融政策会合

12月19-20日

1月17-18日

3月9-10日



FOMC(連邦公開市場委員会)

12月13-14日

1月31日-2月1日

3月21-22日



11月消費者物価指数
12月14日

米国上院選挙
決選投票(ルイジアナ州)
12月6日

岸田首相が訪米し
バイデン大統領と
首脳会談 1月上旬



ジョー・バイデン



ジェローム・パウエル

・ドル主導のドル高は終焉か

一部の主要中銀は利上げ思考を一旦見直しに

ECBは12月に追加利上げを行うが再び0.75%とする可能性は低くなった（ECB専務理事11/21）

追加の大幅利上げ排除せず（カナダ中銀総裁 11/1）

当面の間、利上げを継続（韓国中銀総裁 11/24）

利上げペース減速は早ければ12月の可能性（FRB議長 11/30）

短期的にFRBの沿った動きが重要（メキシコ中銀理事 11/24）

（政策金利7%）インフレ期待を目標レンジ（3~6%）の中間付近に固定（南ア中銀総裁 11/24）

国内の物価が一段と不安定な局面に直面（豪中銀総裁 11/22）

